

(学校名) 蘇州日本人学校

学校・周辺環境



【学校について】

児童生徒数: 小学部271名、中学部61名 (各学年 小学部2学級・中学部1学級)

職員数: 教員27名、外国語講師4名、事務5名、警備員16名

4月始まりの3学期制です。

2012年に移転したため、校舎設備面は充実しています。教室、体育館、廊下、ホールなど校内に空気清浄器を完備。

写真は校舎正面から撮影。



【授業の様子】

子どもたちは素直で学習意欲が高く、教員として授業や学校生活を通じて大きなやりがいを感じることができます。

授業以外でもクラブ活動や運動会、修学旅行などの行事も盛んに行っています。

理科室などの特別教室にも電子黒板、書画カメラを導入し、わかりやすい授業を行っています。

中国語と英語活動はネイティブによる少人数授業を行っています。

クラブ活動は小学部4～6年生が週に1回、部活動は中学部が週に2回実施しています。

写真は授業の様子です



【主な行事】

1学期: 入学式、小学5年生宿泊学習、中学部3年修学旅行、中学部1, 2年宿泊体験、運動会

2学期: 学習発表会、小学部1年生～4年生秋の遠足、中国蘇州文化体験、

3学期: 席書展、6年生送る会、三送会、卒業式、修了式

写真は5年生宿泊学習での様子です。



【現地理解教育・国際交流】

現地校と定期的に交流しています。

中国蘇州文化体験の授業は

1年生: 切絵、2年生: カンフー体操、3年生: 変面、4年生: 中国結び、5年生: 武術、6年生:

中国茶体験

中学部1年生: 絹、刺繍博物館、中学部2年生: 水墨画、中学部3年生: 中国書道

写真は小学部現地校交流のときの様子です。

生活環境



【住居】

住居は「ノアホテルサービスマンション」と「不動産物件」の選択制になります。学校が用意するサービスマンションは2ヶ月学校経費で利用できますので、敷金は必要ありません。「不動産物件」は敷金

、家賃など準備金は必要です。両方とも家具つきで大型家電等も設置されているため、最低限の身の回りのものがあれば生活できます。

写真は「ノアホテルサービスマンション」道路側から撮ったものです。



【周辺のお店・病院等】

居住地の周辺には日系病院、外国人向けVIP病院があり、日本語が通じます。また、飲食店やスーパーも多く、物価が安いので生活しやすい環境です。

住居の近くには日経スーパー、日系コンビニがあり、生鮮食品から調味料まで何でも揃います。

写真は大手日系スーパーの写真です。



【物価・休日・現地独自の文化等について】

携帯電話、スマホは日本以上に普及しており、電子マネー（微信、支付宝）も一般的に使われています。公共自転車の利用は無料、公共バスは30円程度、地下鉄70～150円程度で、日本に比べてとても安いです。日本食レストランも近所にたくさんあるので、食生活には困りません休日には習い事、サークル活動、蘇州の世界遺産巡り、近隣の日帰り上海旅行など、休日の過ごし方もたくさんの選択肢があります。

応募者へのメッセージ

校長より

蘇州と聞いて、みなさんは何を思い浮かべますか。東洋のベニスと謳われたこの街は、水路などの歴史の香りのする風景、庭園文化や世界遺産が数多く保存され、中国でも屈指の文化都市です。高層ビルが立ち並び、日本の大都会での生活とほぼ同じです。インフラが整い、衣食住のすべてが快適です。赴任に関して、心配があるとすれば、それは日本での偏った中国の報道が原因ではないでしょうか。学校は競技場仕様の人工芝、25メートルプールなど教育設備も整い、全教室に電子黒板と書画カメラを導入しています。これまでの経験を活かし、工夫次第でどんな授業でもできます。あなたの可能性を試してみませんか？本校ホームページやブログをご覧になり、蘇州に住む子どもたちのために、私たち教職員といっしょに汗を流しませんか。

学校採用教員より

日本での講師経験があったものの、不安いっぱい蘇州に赴任しました。しかし、数日で不安は吹っ飛びました。生活面では先輩方が温かくサポートしてくれました。食事も徒歩圏内にある日本食の飲食店、世界各地の料理がレストランで楽しめます。衛生面や医療面でも日本とほぼ同レベルです。仕事面では、先輩のレベルの高い授業や子どもとの接し方など、ここでの学びは必ず次のステップに活かせると思います。日本ではできない経験を積み、グローバルな視点を持った実践力のある教師になることが私の目標です。